



楠隼 Letter

～ またるべき日のために ～

鹿児島県立
楠隼中学校
楠隼高等学校
第46号
令和5年7月発行



中学「宇宙学講義（第3回）」を実施しました

7月11日（火）、中学1年生は3回目の宇宙学講義を行いました。

今回は鹿児島大学理学部物理科学科・大学院理工学研究科の半田利弘教授による「宇宙の広がり」をテーマとした講義で、CGなどを使い、地球と太陽や冥王星との距離、宇宙の広さ、銀河の姿などについて、分かりやすく説明していただきました。生徒は、半田教授からの質問に答えたり、メモをとったりしながら、真剣に学習に取り組みました。

講義後、生徒からは、「銀河の渦巻きはどうやってできるのか」、「宇宙に限界はあるのか」、「ダークマターの正体として有力な説はあるのか」など、様々な質問が出ました。

現在、中学1年生は、テーマ研究に向けて事前調査をしています。今後も開催予定の専門家による宇宙学講義をとおして、宇宙に対する興味関心や知識を深めつつ、各自の研究に取り組んでほしいと思います。



高校「宇宙ベンチャー企業と連携・協力した新たな人材育成プログラム」始動

将来宇宙ビジネスに関わる人材育成を目的として、高校の「シリーズ宇宙学」において、宇宙ビジネスの最先端活躍されている企業等と協力して「宇宙ビジネス連携講座」が6月8日（木）、6月15日（木）、6月22日（木）、7月6日（木）の4回にわたって行われました。

今回の4回の講義では、宇宙開発の最前線の現場でご活躍されている方々からのお話を聴ける大変貴重な機会となりました。生徒たちも皆、真剣に話を聞き、たくさん発言して積極的に講義に参加しており、質疑応答の時間も足りないほどでした。

この4回の講義で、今年度の特別講義は最後となりましたが、今後は4つのコースに分かれて探究活動を行うこととなります。これまでの講義で学んだことを活かして、それぞれが考えた課題を解決できるように探究に取り組んでいきます。

